

□ 情報提供項目

各種イベントなどを市長からお知らせした。

□ 記者との質疑応答

- 記者 かめ吉防災リュックのイベントは、もぐらんぴあで開催か。全園児17人にお渡しすることか。
- 市 防災リュックの寄贈イベントは、もぐらんぴあで行う。平山保育園の4～5歳児が参加予定。防災対策課の職員が、短い時間だが防災の話をする。防災展示室で防災リュックをプレゼントしていただいたあと、トンネル水槽に移動し、記念撮影をする。着ぐるみのもぐちゃんと亀吉と一緒に撮影するので、是非取材いただきたい。
- 記者 週休3日制の試行についてだが、全国的な流れかと思うが、久慈市は5月からの試行でかなり早い取り組みだと思う。県内の自治体で着手する取り組みを把握しているか。県内の動きは把握していない。
- 記者 かなり先駆け的な取り組みだと思うが、労働時間や働き方に対する問題意識は、以前から久慈市では持っていたということか。背景が聞けたらと思う。
- 市 市町村の業務は、基本対面で話を聞くので、住民との接点が必要である。そういう意味ではリモートワークは、住民との関係ではなじまないのではないかと思っていた。しかしながら、現在AIやネット環境も進んでいる。久慈市においては、税金や水道料金の支払い関係もPaypayやコンビニなど従来とはどんどん変化している。住民の方に便利な形態は、時代と主に変化していると思う。そういった点からも、職員の働き方改革を行い、働きやすく子育てしやすい環境づくりを考えた。職員にとって通常の勤務よりは、週休3日という選択肢があれば、仕事も家庭もプラスになる職員もいるのではないかと感じたところである。少子化の中で市役所職員の子どものも少なくなっており、職員自身が勤務形態を選択できる、そして、住民サービスのレベルを下げない、という前提で積極的に取り組んでいきたい。今回は本格実施ではなく試行であるので、まずは問題点があるかどうかを、各部局の1課あるいは2課で取り組みができるか、調整していきたい。
- 記者 パターンは基本的に1日休みが3日ということか、半休を含めたものなのか。
- 市 スタート時点では1日休みで実施予定。課題や職員からも意見が出ると思う。そういったものを踏まえながら次の段階にすすめていきたい。
- 記者 課題という言葉がでてきたが、現時点で把握したいと思う内容はあるのか。
- 市 1課か2課という想定だが、いろいろな部署で試してみたい。住民と接することが多い職場や総務系など、そういったなかでどういった課題があるか探していきたい。
- 記者 制度が適する、適さないといったところか。
- 市 窓口業務が多いところは、どういう形でできるかなど、これからその部署とも相談をしながら進めていきたい。
- 記者 市長の話の中で、市職員の応募数も減っているということだが、参考程度に数値があれば教えていただきたい。
- 市 具体的な資料を持ち合わせていないが、昨年度は高卒の試験が20人、今年度は6人程度。今回は極端かもしれないが徐々に減っている印象はある。

記者 労働条件が少し影響しているということか。別の要因もあるとは思いますが。

市 傾向的に減っていると思う。そういった意味では魅力ある職場づくりをしていかなければならないと思う。我々も採用試験をし、合格通知を出しても、毎年辞退する人がいる。行政機関同士でも取り合っていると感じる。職場環境を改善し、多くの方に応募いただいて優秀な人材の確保につなげていきたい。

記者 影響があるだろうと感じているということか。

市 若い人たちは感じるころはあるだろうと思っている。

記者 通常のパターンは、何時か。働き方改革ですでに取り組んでいるものがあれば教えていただきたい。

市 通常勤務は、8時30分～17時15分が現在の勤務時間。働き方改革の点について、フレックスやリモートワークはコロナ禍で実施したことがあったが、本格実施には至っていない。必要な部分だと思うので検討はしていきたい。今現在は、通常勤務である。

記者 仮に、例えば半日の要望があれば、それについても柔軟に対応していく考えか。

市 検討をし、改善する余地があれば進めて行きたい。またフレックスも進めて行かなければならない部分だと思っている。まずは週休3日制を試行し、併せて検討して行きたい。

記者 給料や夜間手当等に影響はないのか。

市 週の勤務時間に変更はないので、給与や手当等に影響はない。

記者 5月中旬とあるが、具体的にいつ頃か。

市 5月13日からを予定している。

記者 各部の1課か2課を選定とあるが、5月13日から8月31日の間に、課を決めて踏襲して行うのか。それとも毎週別の部署が行うことか。

市 今考えているのは、最初の方である。「この期間は、ここ」と設定して行いたい。

記者 資料の概要に、管理職を含む正職員、一部の会計年度職員を対象とあるが正職員の中でも、試行に当てはまらない職員も出てくるということか。

市 そうである。

記者 8時30分～17時15分は、正職員の勤務パターンということか。会計年度職員は、何時から勤務などあるのか。

市 そのとおりである。会計年度は、パートタイマーの方は、8時30分～16時まで、9時～17時までということで、職場によって割り振りがある。今回、1日7時間勤務の人を対象としている。

記者 市長に伺いたいですが、市長は休みという概念はないかもしれないが、これに先立ち、市長の働き方などあるのか。

市 勤務時間がないので、対象外ということである。

記者 試行する部署は固定なのか、期間ごとに変更することか。

市 5月中旬から8月末までを第1期と考えるならば、1課か2課でスタートする。途中で課題や意見をもらい、改善できるところがあれば改善しながら、次に第2期をスタートさせて対象課を増やしていきたいと考えている。

記者 2期というのは、本年度中のどこかで実施する予定はあるのか。

市 実施したいと思っている。順調にいけば、年度内に全課で試行をしたいと考えている。ただ、途中の課題を解消できるのかもがあるが、やってみたいという気持ちではある。これについては、本格導入の際には条例改正が必要となる。

- 記者 週3休の選択をする、しない、のアンケートをとっているのか。
- 市 アンケートをとっているわけではないが、例えば、子育てしている方だと、毎日今の勤務が良いという人もいるのではないかとも思う。強制ではなく選択もできる。
- 記者 募集をかけて何パーセントが3日制やります、といったものはでているのか。
- 市 アンケートはとっていない。
- 記者 来年度、本格導入となるのか。そこまでまだ決まっていないのか。
- 市 意見や課題を解決したうえで、本格的に進めて行きたい。
- 記者 職員数は何名か。
- 市 正職員は346名、会計年度任用職員は285名である。
- 記者 対象は全員か。
- 市 全員ではない。会計年度任用職員の中には、数時間勤務の方もいる。勤務時間が7時間勤務の人が対象である。
- 記者 行事予定21日13時30分の防災会議があるが、どういった内容か。
- 市 国、県が開催している定例の部分で、久慈市の防災計画や総合計画に反映させるための会議。協議事項ではない。
- 記者 冒頭に市長から説明があったが、大雪の関係だが沿岸部でも差があると感じている。バスの話しもだが、雪に伴う影響、公共施設や道路など主な範囲でいいので教えほしい。
- 市 除雪については、現在も一部除雪が入れないところがあるが、継続して行っている。現時点で学校や行政機関、観光施設で休館・休園を行っているところはない。市内で、雪崩や倒木で6路線が通行止めになっている。国道、県道の通行止めはない。鉄道路線バスは通常運転しているが、市民バスは侍浜線と海岸線が運休している。一時期最大1,900戸停電したが、現在は停電しているところはない。農業施設は、雪の重みで被害が出たところがあると報告を受けている。
- 記者 大雪が降ったときは、公共施設など休んだところはあるのか。
- 市 27日は、市内の全部の学校が休校。施設や保育園も休みと聞いている。土風館は休務、もぐらんぴあも除雪が間に合わなかった。侍浜も停電。ポンプも動かず断水したが給水車で対応した。
- 記者 影響があったようだが、このような状況はいつ振りか。
- 市 10年振りではないか。復旧にこれだけ時間がかかるのは、久しぶりだと思う。山根地区で小規模な雪崩があり、除雪できていない箇所もある。
- 記者 去年の今頃は、道の駅いわて北三陸のオープンやあまちゃん10周年などがあったが、4月以降情報発信に繋がる企画などあるのか。
- 市 新年度の当初予算の話となるが、教育保育環境の整備、脱炭素社会の実現に向けた事業の推進、公共交通対策の充実に重点を置いた。教育保育環境の整備だが、久慈湊小学校改築に着手、子ども第三の居場所づくりの運営である。脱炭素社会の実現に向けた事業の推進では、今年度も実施している山形地区での脱炭素事業を実施。公共交通対策の充実にして、リクエスト型最適経路バス実証運行事業とJR八戸線の利用促進に取り組んでいく。令和6年度の当初予算の重点的な部分はこういったところである。